JP021　阿寒・屈斜路（あかん・くっしゃろ）

北海道：釧路市、弟子屈町、標茶町、中標津町、清里町、小清水町、白糠町、足寄町、陸別町、鶴居村、大空町、美幌町、津別町

位置	N 43° 28′　E 144° 10′
面積	142,000ha

環境構成【開放水面／湿地帯／樹林／河川】

写真：馬越尚夫

阿寒湖及びその周辺の森林地域は、火山活動で形成された阿寒カルデラ（長径 24km、短径 13km）が基盤になっている。

阿寒湖の面積は、約 13.0k ㎡。阿寒地域に点在するカルデラ起因の湖のひとつ。湖岸には、雄阿寒岳の噴出物が直接流入している東側以外は、ヨシが生育している。湖底の一角には、世界的に珍しい球状マリモの群落もある。10 数本の河川が流入し、年間通して安定した量の水が湖に流れ込んでいる。例年、正月前後に湖は全面結氷する。

湖の周囲は、亜寒帯性の針葉樹エゾマツ・トドマツと落葉広葉樹のカツラ・シナノキなどが混生する針広混交林の豊かな森に覆われている。この森は、一部原生林だが、その多くが、復元された二次林で構成されている。開放水面：カルデラ湖沼群（阿寒湖、ペンケトー、パンケトー、太郎湖、次郎湖、ヒョウタン沼、オンネトーなど、合計約 16.44 k ㎡）

屈斜路湖、摩周湖およびその周辺森林地域は、屈斜路カルデラ（長径 26km、短径 3km）が基盤となっている。屈斜路湖の面積は 79.3 k ㎡、平均水深は 28.4m で流入河川が数本あり流出河川は釧路川である。湖畔は主に砂地であり、周囲にわずかな淡水湿地はあるものの、大面積の湿地は存在しない。摩周湖は 9.2 k ㎡、平均水深は 137.5m で最水深は 211.4m、流入河川および流出河川はなく、水は地下水となりカルデラ周囲地域の湧き水になっていると考えられている。屈斜路湖は厳冬期遅くに凍結するが、砂湯、和琴等地熱の高い場所は一部凍結を免れる。摩周湖は凍結しにくく、年によっては凍結しないこともある。

カルデラ内の陸地は一部農耕地となっているが、大半はミズナラ、ハルニレ、イタヤカエデ、シラカンバ等からなる落葉広葉樹の自然林および二次林となっている。またトドマツ、カツラ、イタヤカエデ等からなる針広混交林もあり、トドマツやカラマツの人工林もある。標高の高い場所はダケカンバークマイザサ群落である。火山性の特徴的な植生として、火山性土壌の強い場所ではアカエゾマツの純林やハイマツーイソツツジの群落となっているほか、カルデラ中央の硫黄山では植生を欠く岩礫地もある。

選定理由

A1	オオワシ
A3	シマフクロウ・タンチョウ

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

＜保護指定の内容＞

都道府県指定鳥獣保護区（雌阿寒、屈斜路、屈斜路湖）、国立公園（阿寒摩周）、自然環境保全地域、保護林、

＜その他＞

ラムサール条約湿地

保全への脅威

・シカ猟の鉛銃弾に由来する猛禽類の鉛中毒（オオワシ、オジロワシ、クマタカで記録されている）。20 年前より発生し、順次規制がかけられ減少傾向にあるが、現在でも根絶されていない。

・外来種アメリカミンクの増加による、水鳥の繁殖への影響

・外来種ウチダザリガニの増加

・釣り人（主にフライフィッシング、ルアーフィッシングによる立ち込み、また船釣り）による、水鳥の生息場所及びオジロワシの採餌場所の撹乱（屈斜路湖）

・給餌の影響。屈斜路湖では、オオハクチョウへの餌付けにより、自然の餌で越冬できる以上の個体数（約 300 羽）が越冬している。また給餌の量も、鳥インフルエンザの影響等で不定である。

・シカの増加により、林床植物の被食圧が高まり、また高木においても樹皮食いのために枯死するなど、植生の変化が激しい。

鳥類の個体数、生息環境の現状

・IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化

変わらない

・IBA 基準種の個体数のカウント調査の有無：有（オオワシのみ）

＜調査データの入手方法＞

オジロワシ・オオワシ合同調査グループ（斜里町）

・IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：

変化がある：生息環境の変化が進行中

・IBA 選定基準種の生息環境

普通（70～90%が最適の状態）

・IBA エリアの保全管理計画の有無：有

保全活動

・環境管理：

内容：ごみ拾い（摩周屈斜路パークボランティア）

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づく保護増殖事業の一環として、シマフクロウの巣箱の設置、餌資源量調査、傷病個体の保護等を実施（釧路自然環境事務所野生生物課）

山林管理、植樹活動、エゾシカの樹皮はぎ防止対策（前田一歩園財団）

マリモ生息地の監視、打ち上げられたマリモの返還（阿寒町マリモ研究室、阿寒湖マリモ保護会）

・外来種のコントロール：

内容：ミンクの駆除（環境省）

オオハンゴンソウの駆除（摩周屈斜路パークボランティア）

シカの捕獲（前田一歩園財団）

・環境教育活動：

内容：阿寒エコミュージアムセンター運営（環境省）

川湯エコミュージアムセンター運営（環境省）

探鳥会（摩周屈斜路パークボランティア）

子供への普及教育活動（前田一歩園財団）

講演・セミナー等の人材育成活動（前田一歩園財団）

マリモとマリモをとり巻く阿寒の自然に関する普及啓発活動（釧路市マリモ研究室、阿寒湖マリモ保護会）

・モニタリング調査：

内容：鳥類バンディング調査（山階鳥類研究所協力調査員）

オジロワシ・オオワシ一斉調査（合同調査グループ）

越冬期水鳥モニタリング調査（北海道）

全国鳥類繁殖分布調査（バードリサーチ）

モニタリングサイト 1000（環境省）

阿寒地域の自然史、野生生物の保護管理、森林管理などに関する調査研究（前田一歩園財団）

マリモをはじめとした阿寒湖の水生生物に関する調査研究（釧路市マリモ研究室、阿寒湖マリモ保護会）

・経済活動を通じた保全（エコツーリズム等）：

内容：観察会・自然ガイド（ツーリズム弟子屈、阿寒観光協会））

・その他：

自然環境の保全と適正利用に関する活動をする団体への助成事業（前田一歩園財団）

見られる鳥

阿寒摩周国立公園では、これまでに 167 種の野鳥が確認されている（阿寒国立公園の自然 1993、弟子屈町史 2005）。北海道の他地域と比べると、垂直分布の標高帯が低くなっているという特徴がある。以下、主な鳥種を示す。

留鳥	エゾライチョウ、マガモ、トビ、オジロワシ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、クマタカ、シマフクロウ、フクロウ、ヤマセミ、コゲラ、コアカゲラ、オオアカゲラ、アカゲラ、クマゲラ、ヤマゲラ、カケス、ホシガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、キクイタダキ、ハシブトガラ、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、ゴジュウカラ、キバシリ、カワガラス、スズメ、セグロセキレイ、カワラヒワ、マヒワ、ウソ、シメ
夏鳥	オシドリ、カワアイサ、カイツブリ、キジバト、アオバト、カワウ、アマサギ、アオサギ、タンチョウ、ジュウイチ、ホトトギス、ツツドリ、カッコウ、ヨタカ、ハリオアマツバメ、アマツバメ、ヤマシギ、オオジシギ、ミサゴ、ツミ、コノハズク、アオバズク、カワセミ、アリスイ、チゴハヤブサ、モズ、ヒバリ、イワツバメ、ウグイス、ヤブサメ、オオムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、メジロ、シマセンニュウ、エゾセンニュウ、コヨシキリ、ミソサザイ、ムクドリ、コムクドリ、マミジロ、トラツグミ、クロツグミ、アカハラ、コマドリ、ノゴマ、コルリ、ルリビタキ、ノビタキ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、カヤクグリ、ニュウナイスズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、ビンズイ、ベニマシコ、イカル、ホオジロ、ホオアカ、アオジ、クロジ
冬鳥	オオハクチョウ、アオシギ、オオワシ、ケアシノスリ、オオモズ、ワタリガラス、キレンジャク、ベニヒワ、ハギマシコ、オオマシコ、イスカ
旅鳥	ヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、キンクロハジロ、オオバン、ユリカモメ、ウミネコ、オオセグロカモメ、アジサシ、ハチクマ、ハヤブサ、マミチャジナイ、ツグミ、タヒバリ、アトリ、カシラダカ
迷鳥	ハクガン、ヒシクイ、ヤツガシラ、ノドグロツグミ

関連団体・自治体・施設等

・阿寒湖畔エコミュージアムセンター
・阿寒国際ツルセンター
・川湯エコミュージアムセンター
・財団法人　前田一歩園財団
・阿寒湖のマリモ保全対策協議会

N
オホーツク海
Sea of Okhotsk
サロマ湖
Lake Saroma-ko
能取岬
Notoro-misaki Cape
網走国定公園
Abashiri Quasi-National Park
能取湖
Lake Notoro-ko
網走市
Abashiri-Shi
佐呂間町
Saroma-Cho
網走湖
Lake Abashiri-ko
女満別空港
Memanbetsu Airport
仁頃山
Mt. Nikoro
829.2m
小清水町
Koshimizu-Cho
美幌町
Bihoro-Cho
北見市
Kitami-Shi
清里町
Kiyosato-Cho
津別町
Tsubetsu-Cho
Mt. Mokoto
1000.0m
阿寒国立公園
Akan National Park
屈斜路湖
Lake Kussharo-ko
カムイヌプリ(摩周岳)
Kamuinupuri (Mashu Dake)
855.0m
サマッケヌプリ
Samakkenupuri
898.1m
陸別町
Rikubetsu-Cho
阿寒湖
Lake Akan-ko
弟子屈町
Teshikaga-Cho
阿寒富士
Akan Fuji
1475.8m
標茶町
Shibecha-Cho
ウコタキヌプリ
Ukotakinupuri
747.0m
鶴居村
Tsurui-Mura
Mt. Takinoue
567.2m
釧路湿原国立公園
Kushiro Shitsugen National Park
塘路湖
Lake Toro-ko
たんちょう釧路空港
Tancho Kushiro Airport
釧路町
Kushiro-Cho
0 5 10 20 キロメートル
Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community